

「使用上の注意」改訂のお知らせ

ビグアナイド系経口血糖降下剤

日本薬局方 メトホルミン塩酸塩錠 メトホルミン塩酸塩錠250mgMT「ニプロ」 メトホルミン塩酸塩錠500mgMT「ニプロ」

2023年11月

ニプロ株式会社

このたび、標記製品の「使用上の注意」を自主改訂により下記のとおり改訂致しましたのでお知らせ申し上げます。

本剤のご使用に際しましては、電子添文の各項を十分ご覧くださいますようお願い申し上げます。

<改訂のポイント>

相互作用(併用注意)：「イサブコナゾニウム硫酸塩」、「ピミテスピブ」等を追記

記

改訂後(_____ 下線：追加記載)	改訂前(_____ 下線：削除)												
<p>10. 相互作用 本剤はほとんど代謝されず、未変化体のまま、主にOCT2を介して尿中に排泄される。[16.4、16.5参照]</p> <p>10.2.4 その他</p> <table border="1"><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td><u>OCT2、MATE1、又はMATE2-Kを阻害する薬剤</u> シメチジン ドルテグラビル ビクテグラビル バンデタニブ <u>イサブコナゾニウム硫酸塩</u> <u>ピミテスピブ</u> 等 [16.7.1-16.7.3参照]</td><td>本剤の血中濃度が上昇し、作用が増強するおそれがある。観察を十分に行い、必要に応じて本剤を減量するなど慎重に投与すること。</td><td><u>OCT2、MATE1、又はMATE2-Kを介した本剤の腎排泄が阻害されると考えられている。</u></td></tr></tbody></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	<u>OCT2、MATE1、又はMATE2-Kを阻害する薬剤</u> シメチジン ドルテグラビル ビクテグラビル バンデタニブ <u>イサブコナゾニウム硫酸塩</u> <u>ピミテスピブ</u> 等 [16.7.1-16.7.3参照]	本剤の血中濃度が上昇し、作用が増強するおそれがある。観察を十分に行い、必要に応じて本剤を減量するなど慎重に投与すること。	<u>OCT2、MATE1、又はMATE2-Kを介した本剤の腎排泄が阻害されると考えられている。</u>	<p>10. 相互作用 本剤はほとんど代謝されず、未変化体のまま、主にOCT2を介して尿中に排泄される。[16.4、16.5参照]</p> <p>10.2.4 その他</p> <table border="1"><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td>シメチジン ドルテグラビル ビクテグラビル バンデタニブ [16.7.1-16.7.3参照]</td><td>本剤の血中濃度が上昇し、作用が増強するおそれがある。観察を十分に行い、必要に応じて本剤を減量するなど慎重に投与すること。</td><td><u>これらの薬剤の腎臓での有機カチオン輸送系阻害作用により、本剤の排泄が阻害されると考えられている。</u></td></tr></tbody></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	シメチジン ドルテグラビル ビクテグラビル バンデタニブ [16.7.1-16.7.3参照]	本剤の血中濃度が上昇し、作用が増強するおそれがある。観察を十分に行い、必要に応じて本剤を減量するなど慎重に投与すること。	<u>これらの薬剤の腎臓での有機カチオン輸送系阻害作用により、本剤の排泄が阻害されると考えられている。</u>
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子											
<u>OCT2、MATE1、又はMATE2-Kを阻害する薬剤</u> シメチジン ドルテグラビル ビクテグラビル バンデタニブ <u>イサブコナゾニウム硫酸塩</u> <u>ピミテスピブ</u> 等 [16.7.1-16.7.3参照]	本剤の血中濃度が上昇し、作用が増強するおそれがある。観察を十分に行い、必要に応じて本剤を減量するなど慎重に投与すること。	<u>OCT2、MATE1、又はMATE2-Kを介した本剤の腎排泄が阻害されると考えられている。</u>											
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子											
シメチジン ドルテグラビル ビクテグラビル バンデタニブ [16.7.1-16.7.3参照]	本剤の血中濃度が上昇し、作用が増強するおそれがある。観察を十分に行い、必要に応じて本剤を減量するなど慎重に投与すること。	<u>これらの薬剤の腎臓での有機カチオン輸送系阻害作用により、本剤の排泄が阻害されると考えられている。</u>											

【改訂の理由】

○「相互作用(併用注意)」の項

相手薬との整合を図り、「イサブコナゾニウム硫酸塩」、「ピミテスピブ」等を追記致しました。また、併せて排泄経路に関する情報を一部改訂致しました。

以上

薬機法改正に伴う医療用医薬品の添付文書電子化についてのご案内

2019年の薬機法(医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(昭和35年法律第145号))の改正により、2021年8月1日から医療用医薬品の添付文書電子化が施行されました。これを受け、医療用医薬品に同梱されていた紙の添付文書は原則として廃止され、電子的な方法により閲覧することが基本となります。

■ 添付文書の電子的な閲覧方法について

以下のいずれかの方法により閲覧いただくことが可能です。①及び②については従来通りの方法であり変更はございません。

- ① 医薬品医療機器総合機構の「医療用医薬品情報検索ページ」から検索する

(<https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/iyakuSearch/>)

- ② 当社医療関係者向けホームページから検索する

(<https://med.nipro.co.jp/pharmaceuticals>)

- ③ 製品外箱等に記載のGS1バーコードを「添文ナビ[®]」から読み込む
《専用アプリ「添文ナビ[®]」のダウンロードは右のQRコードから》



* 表題製品の電子添文は、こちらのバーコードから閲覧可能です。

メトホルミン塩酸塩錠 250mg、500mgMT「ニプロ」



今後とも当社製品のご使用にあたって副作用等の有害事象をご経験の際には、当社MRまで、できるだけ速やかにご連絡くださいますようお願い申し上げます。

◎DSU(医薬品安全対策情報)No.322掲載予定(令和5年12月発行予定)

◎薬機法改正に伴い、2023年7月31日までに個装箱への添付文書の同梱を廃止致しました。流通の関係上、紙の添付文書が封入された製品においては、改訂前の添付文書が封入されている場合がございます。何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

◎最新の電子添文は医薬品医療機器総合機構の「医療用医薬品情報検索ページ」(<https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/iyakuSearch/>)に掲載しています。また当社医療関係者向けホームページ(<https://med.nipro.co.jp/pharmaceuticals>)にも掲載しています。